

平成25年度(第3回) 医薬品情報学教科担当教員会議 議事録

日時:平成25年8月9日(金)14:00~17:00

場所:名城大学薬学部 新1号館 6階 大会議室

出席者:全国 65 大学・薬学部より 73 名の教員が出席した。

総合司会:後藤伸之先生(医薬品情報学教科担当教員会議副委員長:名城大学)

1. 医薬品情報学教科担当教員会議委員長 山田安彦先生(東京薬科大学)から開会の挨拶があった。
2. 担当校である名城大学の後藤伸之先生から挨拶があった。
3. 政田 幹夫先生(福井大学医学部教授 薬剤部長)から「医療人育成における医薬品情報学の役割」の特別講演があった。福井大学医学部附属病院薬剤部での実例を交えながら、薬剤疫学的思考および科学的思考による判断力を有し、医師と会話のできる薬剤師を養成・教育することが重要であり、そのためには医薬品情報を正しく評価できる技能を身につけることが大切さ、さらに、これからの高齢化社会における薬剤師の係りの重要性について講演された。
4. 医薬品情報学教科担当教員会議副委員長 後藤 伸之先生(名城大学)から、文部科学省委託事業—臨床薬学教科の教材開発—について、資料をもとに報告があった。
5. 望月 眞弓先生(慶應義塾大学)から、薬学6年制モデル・コアカリキュラムの改訂作業事業の経過についての現状報告があった。
6. 高田充隆先生(近畿大学)、松岡俊和先生(九州保健福祉大学)及び小川雅史先生(大阪大谷大学)の司会で、事前に各大学にアンケート調査した「医薬品情報」に関する新国家試験問題23題について、各々のアンケート結果及び追加意見について審議した。全般的に了解された。
7. 松岡俊和先生(九州保健福祉大学)から次回教員会議は鹿児島にて平成26年7月に開催予定。鹿児島県には薬学部がなく、九州保健福祉大学が当番校として担当する旨、挨拶があった。

(文責:小川雅史)